

地球社会基盤学専攻	研究分野	岩石学・火山学	Lab. ID GC21
研究室Webサイト	http://earth.s.kanazawa-u.ac.jp/introduce/rock.html		
研究課題の概要			
地殻化学グループでは、地球の地殻やマントルを構成する火成岩や変成岩の性質と成因について研究しています。これらの岩石や地層に記録されたマグマの発生と移動、プレート運動やマントルダイナミクスについての情報を岩石・鉱物の化学組成や微小領域分析、構造解析、コンピュータ・シミュレーションなどを駆使した岩石学的・地球化学的手法によって解読することによって、地球をはじめとする固体惑星の進化を解明する研究を行っています。			
博士前期課程/後期課程院生の指導方針、具体的なカリキュラム、研究室での活動等			
各学生は指導教員とは普段から密接に意思疎通をはかり、研究の進捗状況について報告・議論し、自主的に研究を進めていくことが望まれます。毎週実施されるグループ合同のゼミでは主指導、副指導教員だけでなく、博士研究員や他の学生と意見交換や議論をかわすことにより、他者の研究を客観的に評価する力を身につけるとともに、自らの研究を多面的に捉え、深化させることを心がけて欲しい。博士前期課程2年間、博士後期課程3年間の間に、修士論文・博士論文の方針発表、中間報告、最終報告をはじめ、学会発表の予行演習や進捗状況について適宜報告や論文紹介などを行います。			
研究室生活の紹介等			
研究テーマに応じて、さまざまな地域へ出かけていく機会があります。海外の地質体や岩石を対象とする場合が多く、異なる文化や自然に触れる経験ができます。研究室間の垣根のない学生同士の自由闊達な交流ができる場として、研究室共同の学生用居室があり、学習スペースとして各人に専用の机が与えられます。部屋には共用の本棚、カラープリンター等があり、無線・有線のネット環境が整備されています。			
教員からのメッセージ			
常に野外での観察から自然現象についての情報を得て、問題点を見いだしていく姿勢を重視します。そこで、学生諸君には室内実験中心のテーマであっても、積極的にフィールドへ出て自分自身の目で見、手で触り、足で踏まえ、五感を通して、自然の中の不思議を体感してほしい、と考えています。			
研究室連絡先メールアドレス	森下 知晃<moripta@staff.kanazawa-u.ac.jp>; 水上知行 <peridot@staff.kanazawa-u.ac.jp>; Dey Bidisha<bidisha-dey@se.kanazawa-u.ac.jp>		